

- 「かいけつゾロリ大冒険展」
- 「富山新聞復刊80年記念 書家・金澤翔子一響さ合う書と文学展」(仮称)
- 「漫画家・今市子の作品世界」(仮称)
- 「第3回 しあわせを伝えよう! 絵てがみ展」
- 「生誕100年 吉村昭展」(仮称)
- 「あへ弘士の絵本動物園展」(仮称)

2026

4 5 6

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	10	11	12	13	14	15	16	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	17	18	19	20	21	22	23	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	24	25	26	27	28	29	30	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	28	29	30	28	29	30										

7 8 9

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	4	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
5	6	7	8	9	10	11	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	
12	13	14	15	16	17	18	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	
19	20	21	22	23	24	25	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				
26	27	28	29	30	31	30	31														

10 11 12

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31							

2027

1 2 3

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6			
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	28	29	30	31									

| 利用案内 |

- 開館時間 展示部門……午前9時30分から午後6時まで
(観覧受付は午後5時30分まで)
- 研修室・和室…午前9時30分から午後9時まで
- 休館日 火曜日(祝日を除く)、祝日の翌日、年末年始

| 交通案内 |

- 富山駅南口(JR・あいの風とやま鉄道)から

市内電車 (富山地方鉄道)	「大学前」行または環状線乗車、「県庁前」下車、徒歩5分
コミュニティバス まいどはや	「西ルート」乗車、「富山中部高校前」下車、徒歩2分
徒歩	約15分

- 富山空港から タクシー約20分
- 北陸自動車道富山ICから 自動車約20分

| 駐車場 |

駐車場は南側に42台、東側に41台分あります。駐車料金は、最初の1時間まで330円です。以後、30分毎に110円が加算されます。ただし、文学館利用者については、3時間まで無料となります。館内で、駐車券の認証を受けてください。(認証を受けない場合、無料の特例を受けることができません。) ※駐車可能台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22
TEL 076-431-5492 FAX 076-431-5490
<https://www.koshibun.jp/>



展覧会スケジュール 2026.4 ⇒ 2027.3

高志の国文学館
KOSHINOKUNI Museum of Literature



「かいけつゾロリ大冒険展」
2026年3月28日(土)～6月8日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
原作：原ゆたか 特別協力：ポプラ社
協力：パンダイナムコピクチャーズ、亜細亜堂、原京子
企画制作：東映

観覧料 一般400円(320円) 大学生200円(160円) ()内は20人以上の団体料金
前売り一般320円

富山にゾロリと仲間たちがやってくる。
見に来てくれよな!

いたずらの王者をめざすキツネの主人公ゾロリと仲間たちの大冒険を描いた『かいけつゾロリ』シリーズは、今年で出版39周年を迎えます。1987年の第1作『かいけつゾロリのドラゴンたいじ』以降、現在(2026年3月)、第76作まで出版されています。累計3500万部が発行されている児童書の人気シリーズで、アニメ化によって、さらに人気に拍車がかかりました。

本展では、ゾロリと仲間たちの大冒険を振り返る貴重な原画作品や資料約210点に加え、ゾロリたちが集めた「お宝」を立体作品として紹介します。また原作者・原ゆたかのアトリエ再現や、ゾロリの世界を楽しめるフォトスポットなども登場します。
魅力たっぷりのゾロリワールドをお楽しみください。



| 観覧料 |

- 常設展 一般200円(団体160円)
※2026年7月1日から一般250円(団体200円)
※団体料金は20人以上の場合
※70歳以上の方の常設展の観覧は無料になります。(年齢を証明できるものが必要です。)
- 企画展 展覧会によって異なります。企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

次の方は常設展・企画展ともに無料でご覧いただけます。

1. 小・中・高校・特別支援学校の児童・生徒及びこれに準ずる方(大学生は常設展のみ無料)
 2. 各種障害者手帳、ミライロIDをお持ちの方及び付添いの方(付添いは手帳、ミライロIDをお持ちの方一人につき1名まで)
- ※学校教育・社会教育活動として児童・生徒が観覧される場合、引率者の方も観覧料が無料になります。あらかじめ「観覧料免除申請書」に必要事項を記入のうえ、事前に当館まで提出ください(FAX可)。
観覧料免除申請書はホームページからダウンロードできます(PDF、Word)。
※都合により、記載内容を変更する場合があります。詳しくは高志の国文学館 HP をご覧になるか事務局までお問い合わせください。

富山新聞復刊80年記念 「書家・金澤翔子-響き合う書と文学展」(仮称)

2026年6月20日(土)～8月31日(月)

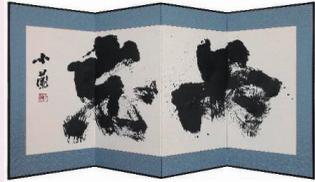
主催：高志の国文学館、富山新聞、北國新聞社 共催：富山テレビ放送
特別協力：株式会社アトリエ翔子 企画協力：香希画廊

観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円)()内は20人以上の団体料金
(予定) 前売り一般400円

書は言霊となり、文学のことばと静かに響き合う

日本を代表する書家の一人として活躍する金澤翔子(1985～)。翔子の書は、文字の意味や書の技法を大切にしながら、愛や想い、祈り、幸せがにじみ出るような表現が特徴です。ことばのひとつひとつにこめたい思いは、言霊となって観る人の心へ静かに届きます。

本展では、10歳の時に書いた般若心経から、「愛」「夢」「抱擁」などのことばが心にまっすぐに届く額装作品、「両忘」「龍翔鳳舞」などの迫力ある屏風作品、「月に吠える」などの文学を題材にした作品、NHK大河ドラマの題字などの話題作、近年のアート作品まで、金澤翔子の多彩な書の魅力が詰まった作品を厳選して展示します。文学館を舞台に、金澤翔子の書と文学のことばが響き合う世界をどうぞお楽しみください。



「両忘」



©アトリエ翔子

「漫画家・今市子の作品世界」(仮称)

2026年9月12日(土)～11月23日(月・祝)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、チューリップテレビ
特別協力：今市子、朝日新聞出版

観覧料 一般600円(480円) 大学生300円(240円)()内は20人以上の団体料金
(予定) 前売り一般480円

妖しくも美しい幻想の物語と 個性あふれるキャラクターを巧みに描く

富山県水見市出身の漫画家・今市子。1993年に「マイ ビューティフル グリーンパレス」で漫画家デビューを果たします。

1995年から代表作「百鬼夜行抄」の連載を開始。妖怪が見える主人公の不思議な体験を描いた本作は、独自の時空間を構築する緻密に計算された会話やコマ割り、卓越した構成員と確かな絵の技術による優れた表現力で高く評価され、2006年には第10回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞しました。

また、多くの文鳥との暮らしをユーモラスに描いたエッセイ漫画「文鳥様と私」をはじめ、ホラーやファンタジー、コメディなど幅広いジャンルの作品を手がけています。

本展では、繊細な線描と美しい色彩で多くの読者を惹きつける今市子の作品を紹介し、貴重な原画展示を通じて、漫画家・今市子が紡ぎだした創作の世界をご覧ください。



©今市子/朝日新聞出版

「生誕100年 吉村昭展」(仮称)

2027年1月16日(土)～3月15日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、北日本放送
特別協力：津村節子、吉村司 協力：吉村昭記念文学館、三鷹市

観覧料 一般600円(480円) 大学生300円(240円)()内は20人以上の団体料金
(予定) 前売り一般480円

クローズアップ『高熱隧道』

吉村昭(1927年～2006年、東京都荒川区生まれ)は、膨大な資料から徹底的な取材に裏付けられた事実を追い求め、記録文学、歴史文学に新たな達成をもたらし、高く評価されると共に、小説を愛する多くの読者を獲得しました。

吉村は、昭和42年(1967)発表の『高熱隧道』で、日本電力黒部川第三発電所の樺平駅からの軌道トンネルの難工事を描きました。岩盤は160度以上、宿舎を吹き飛ばす泡雪雪崩、足を踏み外せば即死の栈道。『高熱隧道』では、壮絶な自然との闘いと人間ドラマが繰り返されます。

その大自然が残る黒部に、新たな観光名所が誕生します。黒部峡谷の樺平から黒部ダムまでの約18キロにわたる新ルート、黒部宇奈月キャニオンルートです。

本展では、黒部宇奈月キャニオンルート始動を記念して『高熱隧道』をクローズアップします。そして、生誕100年を迎える吉村昭の徹底した取材に基づく記録文学と、史実にこだわった歴史小説の世界の魅力をご紹介します。



吉村昭『高熱隧道』(新潮文庫刊)

「あべ弘士の絵本動物園展」(仮称)

2027年3月27日(土)～6月7日(月)

主催：高志の国文学館 共催：北日本新聞社、富山テレビ放送
特別協力：あべ弘士 企画制作：ミモゼーレ

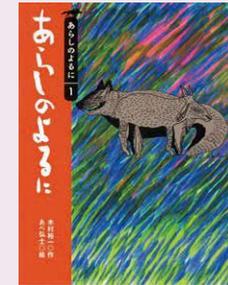
観覧料 一般500円(400円) 大学生250円(200円)()内は20人以上の団体料金
(予定) 前売り一般400円

ようこそ! 地球の仲間たち。

あべ弘士の絵本は、動物たちをユーモアたっぷりにいきいきと描き、幅広い世代から圧倒的な人気を集めています。

あべは、北海道旭川市に生まれ、25年間、旭山動物園の飼育係としてさまざまな動物を担当しました。動物たちと長くつきあってきたことから、骨格や筋肉のつきかた、毛なみ、動きかた、習性など、動物たちの特性を的確に描き、その絵本は、まさに「自然界と人間をつなぐ通訳者」による動物絵本です。

動物園や自然のなかで出会った「感動を描く」と言うあべ弘士の動物絵本の魅力を、原画を通してご紹介します。

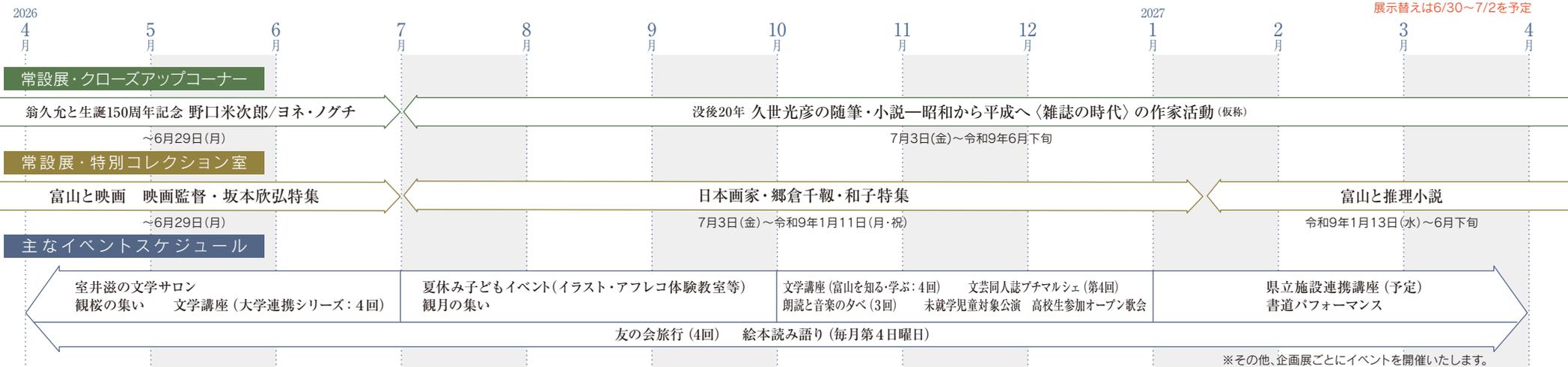


「あらしのよるに」きむらゆういち・作 あべ弘士・絵 講談社



あべ弘士

常設展・イベントスケジュール



「第3回 しあわせを伝えよう! 絵てがみ展」

2026年12月5日(土)～12月28日(月)

主催：高志の国文学館 観覧料 無料(一部有料)

「しあわせ」いっぱい絵てがみを展示!

第1回、第2回ともに、全国から約1,000点の絵てがみが集まり、およそ700点を文学館で展示しました。

第3回も、引き続き「ウェルビーイング」をテーマに、普通よりもちょっと大きなサイズの絵てがみを募集します。皆様の「しあわせ」な絵てがみをお待ちしています。

※募集に関する詳細は、文学館のウェブサイト等でご案内します。



第2回募集 子どもの部 知事賞



第2回募集 一般の部 知事賞